

医薬・バイオケミカル事業

Kyowa Hakko Kirin

協和発酵キリン

医薬事業

➡ 最先端かつ独自のバイオ技術による
抗体医薬に強み

➡ 研究開発から製造、販売まで一貫した機能を持つ

バイオケミカル事業

➡ 医薬、医療、ヘルスケア領域の
アミノ酸・核酸関連物質を世界中に提供



2016年中計の基本戦略

グローバル・スペシャリティファーマへの飛躍を目指して、欧米でのグローバル戦略品の上市等により、2020年時点でのコア営業利益※1,000億円以上を計画しています。そのため、新薬開発に向けた研究開発投資を継続し、海外での販売体制の整備を進めます。

グローバル・スペシャリティファーマへの飛躍

2020年ガイド

➡ コア営業利益※ 1,000億円以上（連結前）

収益改善の施策

➡ グローバル競争力の向上

- ・グローバル戦略品の欧米上市
- ・グローバル化に対応した組織の構築と販売インフラの整備

※ コア営業利益（連結前）= 営業利益 + のれん償却額 + 持分法投資損益

2016年度の事業報告と

2017年度の事業計画

医薬事業では、後発医薬品の浸透や4月に実施された薬価基準引下げの影響で売上高は前年を下回りましたが、国内では、主力製品「ネスプ®」や新製品群の売上が順調でした。研究開発の分野では、飛躍的な成長の鍵を握るKRN23をはじめ、早期承認取得と上市に向けた準備を進めています。

引き続きグローバル戦略品を中心に、早期上市の実現とその価値最大化に向けた取り組みを推進します。

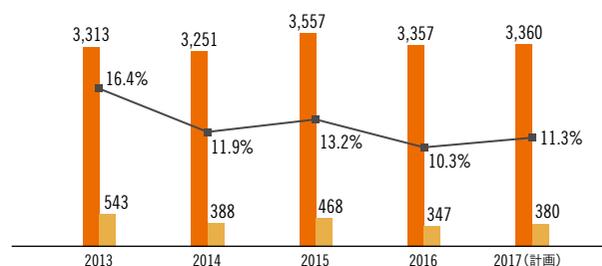
2016年度の進捗

➡ グローバル競争力の向上

- ・KRN23は、ウルトラジェニクス社との共同開発を進めており、6月に米国食品医薬品局（FDA）により、画期的治療薬の指定を受けたことに続き、年末に、欧州医薬品庁（EMA）に販売承認申請し、受理された

売上高・営業利益の推移

（億円）



■ 売上高 ■ 営業利益 — 営業利益率

売上高 **+2億円** **+0.1%**

- ➡ 国内外の新薬が伸長
- ➡ ジェネリック医薬品の浸透進行による、長期収載品の売上減少
- ➡ 海外からの技術収入が増加

営業利益 **+32億円** **+9.4%**

- ➡ 技術収入増加による売上総利益増加
- ➡ 医薬事業における後期開発品が試験終了に向かい研究開発費減少
- ➡ バイオケミカル事業において、収益性の高い事業（通信販売、海外等）の売上が前年よりも増加

2020年までに承認予定のグローバル戦略品

開発番号	適応症・対象疾患
KW-6002	パーキンソン病
KRN23	X染色体遺伝性低リン血症
KW-0761	ATL(成人T細胞白血病リンパ腫)およびCTCL(皮膚T細胞性リンパ腫)